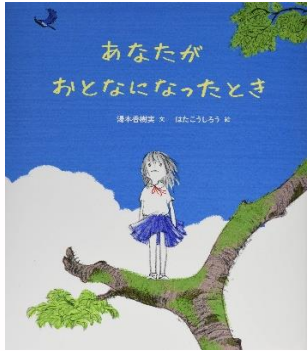


今こそ読みたい!

ティーンズにおすすめの絵本

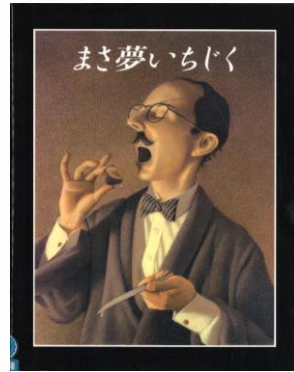
旅立ちの季節におすすめ!



『あなたが
おとなになったとき』
湯本 香樹実/文
はた こうしろう/絵
講談社 2019年

「あなたがおとなになったとき どんな歌がすきだろう」。重ねられる問いかけが、将来の自分を想像する手がかりとなります。新しい明日へ踏み出す勇気を与える、詩の絵本です。

現実と非現実のはざま



『まさ夢いちじく』
クリス・ヴァン・オール
ズバーグ/絵と文
河出書房新社 1994年

歯医者さんのピポットは、おばあさんから治療費の代わりに、見た夢がほんとうになるというイチジクをもらいます。ところが、飼い犬がそのイチジクを食べてしまいました。村上春樹の訳でも知られる、ブラックユーモア溢れる作品です。

書名	作者	出版者	出版年
● たいせつなこと	マーガレット・ワイス・ブラウン/著	フレーベル館	2001
あなたにとってたいせつなことは?			
● 生きる	谷川俊太郎/詩 岡本よしろう/絵	福音館書店	2017
生きているということ いま生きているということ			

書名	作者	出版者	出版年
● アライバル	ショーン・タン/著	河出書房新社	2011
故郷から離れてやってきたのは奇妙な町。移民の心情を描いた文字のない絵本。			
● ジャーニー	長田 弘/詩	リトルモア	2012
詩と絵とジュエリーのコラボレーション			

こんな大人に出会いたい



『海のアトリエ』
堀川 理万子/著
偕成社 2021年

おばあちゃんは子どもの頃、夏休みの1週間、海のそばの家に住む絵描きの女の人といっしょに暮らしたことがあります。海に行ったり、絵を描いたりして過ごしたかけがえのない毎日が、丁寧な絵で描かれています。

好奇心が開く、科学の扉



『リンドバーク
空飛ぶネズミの大冒険』
トーベン・クールマン/作
ブロンズ新社 2015年

ある日、港町に住む知りたがりやのネズミが図書館から帰ってくると、仲間が1びきもいません。新しいネズミとりを恐れてみんな逃げ出したのです。ネズミは飛行機を発明し、太平洋を横断してアメリカへ行こうと決意します。

書名	作者	出版者	出版年
● ルピナスさん	バーバラ・クーニー/著	ほるぷ出版	1987
世の中を、もっとうつくしくするために、なにかしなくては			
● ルリユールおじさん	いせ ひでこ/作	理論社	2006
大切な本を修理する、製本職人のおじさん			

書名	作者	出版者	出版年
● 天動説の絵本	安野光雅/著	福音館書店	1979
大地が平らで、天が動いていると信じていた時代の人々が考える世界			
● グレゴール・メンデル	シェリル・バード/文 ジョス・A.スミス/絵	BL出版	2013
最初の遺伝学者メンデルの伝記絵本			

働くって
なんだろう？

仕事についての本

どんな仕事があるのかな？

子ども室



『なぜ僕らは働くのか』

池上 彰／監修
学研プラス 2020年

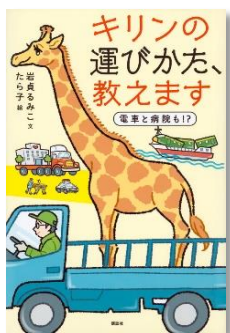
なぜ働くのか、好きなことを仕事にしたいと思っても希望が叶わなかったらどうすればいいのか、そんな仕事に関するさまざまな疑問や不安について考えるヒントになる本です。



『おしごと年鑑 2021』

谷 和樹／監修 朝日新聞社／編
朝日新聞社 2021年

140近くの日本の企業・団体が取り上げられ、どんなふうに社会に役立っているかを知ることができます。シャープペンシルのしくみや、NPOとは何かなど、疑問に答える形で、さまざまな企業の取組みが紹介されています。



『キリンの運びかた、教えます 電車と病院も!？』

岩 貞 真みこ／文
講談社 2018年

岩手から東京まで、トラックで3メートル以上もあるキリンを運びます。送り出す側と受け入れる側の動物園、動物の引っ越し専門会社が協力して、この大移動に挑みます。「運び」仕事の奥深さが感じられるノンフィクション小説です。



『15歳から、社長になれる。』

ぼくらの時代の起業入門
家入 一真／著
イースト・プレス 2013年

「起業」は、特別な人だけがすることでしょうか？この本では、会社の始め方からゴールまでが分かりやすく説明されます。読み終わるころには「起業」が人生の選択肢に加わるかもしれません。

大分県出身の若手起業家、
鶴岡裕太さん（BASE株式会社創業者）
のインタビューもあります。

お仕事小説

一般



『某県庁に「おもてなし課」』

有川 浩／著
KADOKAWA／角川文庫
2011年

某県庁に「おもてなし課」が発足しました。若手職員の掛水は県出身の作家に観光特使を依頼する電話をしますが、返ってきたのは「お役所仕事」に対する指摘でした。県の観光を盛り上げるために、おもてなし課は変わることができるのでしょうか？高知県出身の著者の地元愛が溢れる作品です。

YA



『ストロベリーライフ』

荻原 浩／著
毎日新聞出版 2016年

東京でデザイナーとして働く恵介のもとに、田舎の父親が倒れたと連絡が入ります。成り行きで実家のいちご農家を手伝うことになった恵介ですが、東京を離れたくない妻と対立します。新しい農業の形、新しい家族の形を探して奮闘する一家の姿が描かれた小説です。

仕事と暮らしの 情報コーナー

県立図書館にある、仕事に関する資料（約3000冊）や情報を集めたコーナーです。資料は就職・業界情報・資格取得・仕事術など9つのテーマに分けて並べてあります。



『なるにはBOOKS』シリーズ
もあります！



電子書籍もあります！

『世界で活躍する仕事100』

10代からの国際協力キャリアナビ
三菱UFJリサーチ&コンサルティング／編
東洋経済新報社 2018年

ユニセフ、世界銀行、外交官、民間企業のエンジニアなど、国際協力に関わる100の仕事を紹介し、仕事内容や採用対象、給与まで解説します。中学生、高校生の疑問に答えるQ&Aもあります。